

1 調査日 令和8年6月17日（水）

2 調査の概要

（1）特別史跡安土城跡および安土城考古博物館（近江八幡市安土町）

特別史跡安土城跡および安土城考古博物館は、安土城築城450年を契機とした「幻の安土城」復元プロジェクトにより「見える化」「実像の解明と保全」「調査研究成果の発信」などを柱として、安土城の歴史的価値を次世代へ継承するための取組を進めている。

特に、「デジタルを活用した安土城の見える化」の取組のひとつとして「復元・体験アプリ安土城」を令和7年10月より運用開始し、来訪者が現地において往時の安土城の姿を体感できる環境整備を進めている。

本委員会では歴史・文化・スポーツ等の地域資源を活かした持続可能な観光振興および魅力発信についてを重点審議事項の一つに掲げており、復元プロジェクトの進行状況について調査を行った。



（2）（仮称）杉本余呉トンネル（長浜市余呉町）

杉本余呉線の杉本・上丹生工区は、見通しが悪く離合困難な区間が連続していることや、冬季には通行止め規制を実施していることなど、地域住民や緊急車両などの利用者が通年かつ安全に通行できる環境の確保が課題となっている。

現在進めている杉本余呉線道路整備事業は、バイパス整備により、こうした課題の解消を図るとともに、木之本町側と余呉町側を結ぶ横断的な交通ネットワークを強化し、地域間交流の促進や地域振興、防災機能の向上に資する重要な事業として整備を進めている。

本委員会では社会・防災インフラの整備と地域交通・まちづくりの一体的推進による持続可能で暮らしやすい地域づくりについてを重点審議事項の一つに掲げており、当該事業の現場を視察し、進捗状況について調査を行った。



(3) 丹生ダム建設予定地跡《針川集落跡》（長浜市余呉町）

一般県道中河内木之本線は、平成29年12月に締結された「丹生ダム建設事業の中止に伴う一般県道中河内木之本線等整備に関する協定書」に基づき、水資源機構による整備工事と併せて、滋賀県において現道改良事業を進めている。

滋賀県が事業主体となって進めている道路拡幅、橋梁整備、斜面对策等の現道改良については、協定の終期である令和8年度末での完了が困難な見通しとなっており、令和9年度以降に残る事業内容について精査を進めている。

本事業は、丹生ダム建設中止後の地域整備の中核に位置付けられており、余呉地域の振興に資する重要な取組であることから、当該事業の現場を視察し、進捗状況について調査を行った。

